

単元名

# 「家族の笑顔を守る！にこにこお手伝いレンジャーになろう」

## 挑戦問題 『にこにこお手伝いレンジャーにへんしんしよう！』

**本単元で育成する資質・能力**

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 責任・使命 協力・協働 感謝・貢献

1 対象 第1学年1組 男子11名 女子8名 計19名

2 単元で目指す学ぶ姿

家族が自分たちのためにしてくれていることへの感謝の気持ちを持ち、家族の笑顔のために自分ができることをしようとする姿

&lt;単元で児童と共有する学びの姿を見取る資質・能力のルーブリック&gt;

現学習指導要領	資質・能力	評価	評価基準
基礎能力の育成	知識・技能	S	家庭生活には、それぞれの果たしている仕事や役割があることに気付き、家族のためにできることや自分の役割に気付いている。
		A	家庭生活には、それぞれの果たしている仕事や役割があること、家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いている。
		B	家庭生活には、それぞれの果たしている仕事や役割があることに気付いている。
		C	家庭生活には、それぞれの果たしている仕事や役割があることに気付いていない。
活動や体験についての思考・表現	情報収集	S	自分でできる仕事や家族が喜ぶことを見付け、家庭生活が楽しくなるように工夫し、実行することができる。
		A	自分でできる仕事や家族が喜ぶことを見付け、家庭生活が楽しくなるように工夫している。
		B	自分でできる仕事や家族が喜ぶことを見付けることができる。
		C	自分でできる仕事や家族が喜ぶことを見付けることができない。
	判断	S	家庭生活をよりよくするために取り組んできたことを、そのわけとともに振り返ったり、交流したりしている。
		A	家庭生活をよりよくするために取り組んできたことを振り返ったり、交流したりしている。
		B	家庭生活をよりよくするために取り組んできたことを振り返ることができる。
		C	家庭生活をよりよくするために取り組んできたことを振り返ることができない。
	思考	S	家庭生活をよりよくするために取り組んできたことを、そのわけとともに振り返ったり、交流したりしている。
		A	家庭生活をよりよくするために取り組んできたことを振り返ったり、交流したりしている。
		B	家庭生活をよりよくするために取り組んできたことを振り返ることができる。
		C	家庭生活をよりよくするために取り組んできたことを振り返ることができない。
生活への関心・意欲・態度	挑戦	S	家族をにこにこにするために複数のお手伝いに挑戦している。
		A	家族をにこにこにするためにお手伝いに挑戦している。
		B	家族をにこにこにするためにお手伝いしようとしている。
		C	家族をにこにこにするためにどんなお手伝いができるか分からない。
	探究	S	家族の一員として、継続的に自分ができることをし、家族をにこにこにしようとしていることができる。
		A	家族の一員として、継続的に自分ができることをしようとしている。
		B	家族の一員として、自分ができることをしようとしている。
		C	家族の一員として、自分ができることをしようとしていない。
	責任	S	家族がにこにこになることを友だちと交流することで、自分のお手伝いに生かすことができる。
		A	家族がにこにこになることを友だちと交流することで、自分のお手伝いに生かそうとしている。
		B	家族がにこにこになることを友だちと交流することができる。
		C	家庭生活をよりよくするために取り組んだことをふり返ったり交流したりすることができない。
	協力	S	家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付き、感謝して自分ができることをしようとする。
		A	家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付き、感謝している。
		B	家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いている。
		C	家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いていない。
協働	S	家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付き、感謝して自分ができることをしようとする。	
	A	家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付き、感謝している。	
	B	家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いている。	
	C	家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いていない。	
感謝	S	家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付き、感謝して自分ができることをしようとする。	
	A	家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付き、感謝している。	
	B	家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いている。	
	C	家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いていない。	
貢献	S	家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付き、感謝して自分ができることをしようとする。	
	A	家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付き、感謝している。	
	B	家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いている。	
	C	家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いていない。	

**【評価方法】**

授業中の教師観察およびワークシート、提出物等、児童には、上記の資質・能力のルーブリックのAとS基準を示し、意欲を喚起させ、単元の最後の自己評価に教師の評価を加える。

### 3 単元について

#### (1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領生活科の内容（２）「家庭と生活」を基に構成した。児童にとって、家庭は自分を支え育ててくれる家族がいるところである。そこでは、家族一人ひとりがそれぞれの役割を果たし、思いやりや愛情によって互いに支え合い、家庭生活が営まれる。しかし、児童にとってはあまりにも身近であるため、その大切さを実感することには至っていない。そこで、『にこにこお手伝いレンジャーにへんしんしよう！』と挑戦問題を設定し、「家族はどんなときに、にこにこになるのだろうか。」「そのにこにこのために自分にできることは何だろうか。」と課題解決に向けての活動を仕組んでいく。家族が普段してくれている様々なことに気付き、自分でも経験したり、友達が経験したことと比べたりする活動を通して、自分の生活を見直し、家族へ感謝の気持ちを持ち、家族の笑顔のために自分ができることをしようとする積極的な生活態度を育てることをねらいとする。

#### (2) 児童観

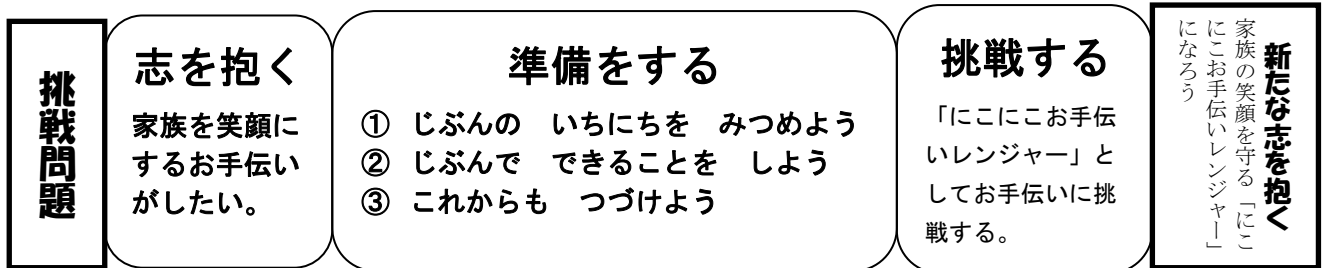
入学して3か月が経ち、児童は学校生活に慣れ、できることが増えてきたことに自信をもっている。学校では、給食や掃除などの当番活動や係の仕事を進んで行っている。これらを通して、自分中心だった児童も、しだいに周りのことに目が向くようになってきた。

一方、家庭では、まだ家族に依存しがちな児童も多い。お手伝いはしているが、頼まれたから、褒めてもらえるからなどといった理由が多い。

#### (3) 指導観

指導にあたっては、次の5つのポイントで授業改善をすすめる。

##### ① 挑戦問題から始まる課題発見・解決学習の流れを次のように設定する。



##### ② 振り返り時間（5分）の充実

活動の後には必ず振り返りの時間を設け、自分たちの活動から気付きを得るようにする。活動で得た思いや気付きを交流させることで、児童に自分の思いや気付きを自覚させるとともに、友だちの思いや気付きを共有できるようにする。そして新たなめあてをもち再び交流活動に取り組むと、また新しい気付きを得ることができる。家族の「にこにこ」を見付けさせることや、実際に家族のために活動したことを家族に認めてもらったことを振り返り交流することを通して、家族の役に立つことがうれしいことや、自分の成長を家族が喜んでいることにも気付かせたい。

##### ③ 自学自習への意欲を引き出す予習課題・復習課題の設定

授業の中で自分の気付きを表現できるように、家庭でしっかりと「にこにこレンジャー」としてお手伝いができるよう家庭と通信などで連携する。また授業での気付きから生まれた新たな課題に挑戦してお手伝いができるよう、家庭との連携を図る。

##### ④ ワークシート・ノート指導の工夫

児童の実態や発達段階を考慮し、絵でも表現できるようにワークシートの工夫を図る。

##### ⑤ 評価の工夫

広南学園の資質・能力のSループリックを活用し、教科の目標に準拠した評価活動を行う。

### 4 単元の目標

家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする。

### 5 単元の評価規準と適用する資質・能力

生活への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や自分についての 気付き
家族をにこにこにするため にお手伝いに挑戦している。 <b>〈挑戦・探究〉</b> 家族の一員として、継続的に 自分でできることをしようと している。 <b>〈責任・使命〉</b>	自分でできる仕事や家族が喜ぶ ことを見付け、家庭生活が楽しく なるように工夫している。 <b>〈情報収集・判断〉</b> 家庭生活をよりよくするために 取り組んできたことをふり返った り、交流したりしている。 <b>〈思考・表現〉</b> 家族がにこにこになることを友 だちと交流することで、自分の お手伝いに活かそうとしている。 <b>〈協力・協働〉</b>	家庭生活には、それぞれの果 たしている仕事や役割がある こと、家族の大切さや自分が家 族によって支えられているこ とに気付いている。 <b>〈知識・技能〉</b> 家族の大切さや自分が家族 によって支えられていること に気付いている。 <b>〈感謝・貢献〉</b>

## 6 指導と評価の計画（全6時間）

時	学習活動	評 価（○は主に「指導に活かすための評価」、●は主に「記録するための評価」）				
		関	思	気	評価規準 (評価方法)	★適用する資質・能力
1	<b>課題の設定</b> (めあて) ○じぶんの いちにちを ふり かえろう。 ・家庭での自分の1日の生活を ふり返る。 ・家で毎日していることを確認 する。 (まとめ) ○いちにちの なかで じぶん の していることが わかり ました。 ・(家庭で) 自分の一日の生活を 調べる。	◎			<b>【生活への関心・意欲・態度】</b> ●生活のリズムを大切に し、健康に気を付けて生 活しようとしている。 (行動観察・発言)	<b>★【責任・使命】</b> (資質・能力ル ーブリック)
2	・家の人にしてもらっているこ とについてふり返る。 <b>挑戦問題</b> <b>「にこにこお手伝いレンジャー になろう！」</b> ・「にこにこお手伝いレンジャ ー」になって、お手伝いに挑 戦しようとする意欲を高め る。 <b>情報の収集</b> (めあて) ○いえの ひとに してもらっ ていることについて かんが えよう。					

2	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べてきたことをもとに、自分の1日の生活をワークシートにまとめる。</li> <li>自分の1日の生活について友だちと交流し、見つけたことや気付いたことを話し合う。</li> </ul> <p>(まとめ)</p> <p>○じぶんで できることでも いえの ひとに してもらって いることが わかりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(家庭で) 家の人がしていることや、家の人にしてもらっていることを調べる。</li> </ul>	○	◎	<p>【身近な環境や自分についての気付き】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭生活には、それぞれの果たしている仕事や役割があること、家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付いている。(行動観察・発言)</li> </ul> <p>○家族をにこにこにするためにお手伝いに挑戦している。</p>	★【知識・技能】 (資質・能力ルーブリック)
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べてきたことをもとに、家の人のしていることを見つめ直す。</li> </ul> <p>(めあて)</p> <p>○いえの ひとが していることについて かんがえよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調べてきたことを友だちと伝え合い交流する。</li> <li>家の人がしていることや、家の人にしてもらっていることをふり返る。</li> </ul> <p>(まとめ)</p> <p>○いえの ひと は じぶんたちのために してくれて いることが わかりました。</p>	○	◎	<p>【身近な環境や自分についての気付き】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家族の大切さや自分が家族によって支えられていることに気付き感謝している。(行動観察・発言)</li> </ul>	★【感謝・貢献】 (資質・能力ルーブリック)
4	<p><b>整理・分析</b></p> <p>(めあて)</p> <p>○かぞくを にこにこにする さくせんを たてよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分はどんなときに、にこになるのかを考える</li> <li>家族はどんなときに、にこになるのかを考える。</li> <li>家族を笑顔にするために、家庭で自分ができると、挑戦してみたいことを考え、実施する計画を立てる。</li> <li>「にこにこお手伝いレンジャー」としてお手伝いに挑戦する。</li> </ul> <p>(まとめ)</p> <p>○ぼくは、○○レンジャーになって かぞくを にこにこにしようとおもいます。</p>	○	◎	<p>【活動や体験についての思考・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分でできる仕事や家族が喜ぶことを見付け、家庭生活が楽しくなるように工夫している。(ワークシート・発言)</li> </ul> <p>○家族をにこにこにするためにお手伝いに挑戦している。(ワークシート・発言)</p>	★【情報収集・判断】 (資質・能力ルーブリック)

	(家庭で) 家族の「にこにこ」 を取材する。				
5 (本時)	(めあて) ○かぞくが にこにこに なっ たわけを かんがえよう。  ・取材してきたことをもとに、 家族が笑顔になる時はどんな 時なのかをふり返る。  ・家族がどうして笑顔になるの かを考える。  ・家族の笑顔を増やすにはどう したらよいかをかんがえ る。	◎	◎	○	○家庭生活をよりよくする ために取り組んだことをふ り返ったり、交流したりす ることで、自分のお手伝い に活かそうとしている。(ワ ークシート・発言)  ★【協力・協働】 (資質・能力ルー ブリック)
	<b>まとめ</b>			◎	○
6	(めあて) ○いえの ひとを もっと に こにこに するには どうし たらよいかを かんがえよ う。  ・もっと家族を笑顔にする「に こにこお手伝いレンジャー」 について考える。  ・もっと家族を笑顔にする「に こにこお手伝いレンジャー」 になるための計画をたてる。	◎	◎	◎	【活動や体験についての思考・表現】 ●家庭生活をよりよくする ために取り組んできたこと をふり返ったり、交流した りしている。 (ワークシート・発言)  ★【思考・表現】 (資質・能力ルー ブリック)
	(まとめ) ○いえの ひとを もっと に こにこにするためには お手 伝いレンジャーを つづけて いきます。			○	○

## 7 本時の学習（5時間目／全6時間）

### (1) 本時の目標

どんな時に家族が笑顔になるかを紹介し合うことを通して、家族の一員として、家族の喜びのために、自分でできることをしようとする。

### (2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する児童への支援（◆） 発問（○） 予想される児童の反応（□□□□）	評価規準 [観点] 教科の評価の観点(○) 資質・能力(★) (評価方法)
<p>1 課題意識をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家での取材活動の様子を思い出す。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>挑戦問題</b> にここにお手伝いレンジャーになろう！         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>本単元の目標を資質・能力ルーブリックで理解する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>課題の設定</b> </div>	<p>○「       」レンジャーで家族はにここになりましたか。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">           ・はい、たくさんにここになりました。         </div> <p>の提示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本単元の目標を資質・能力のルーブリックで共有する。</li> </ul>	
<p>めあて 「いえの   ひとが   にここになつた   わけを   かんがえよう。」</p>		
<p>2 取材してきた「にここ」をみんなに紹介する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>情報の収集</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>どんなときに「にここ」になるのか、考える。</li> </ul> <p>3 出てきた「にここ」を分類する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>整理・分析</b> </div> <p>①お手伝いをする。 ②自分のことは自分でする。 ③家族がたのしくなること。</p>	<p>○△△レンジャーになってだれが「にここ」になったのか取材してきたことを発表しましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>私のおかあさんは、私が自分で学校のしたくをすると「にここ」になります。立派な一年生だねってほめてくれます。</li> <li>ぼくのお父さんは、ぼくがお風呂をあらうと「にここ」になります。</li> <li>おじいちゃんは、肩をたたいてあげると「にここ」になります。</li> </ul> </div> <p>○どんなときに「にここ」がありましたか。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>ぼくのお母さんは、お茶碗を運ぶと「にここ」になります。</li> <li>おもちゃの後片付けを一生懸命したら、おかあさんが「にここ」になりました。</li> <li>みんなで旅行に行ったら「にここ」になりました。</li> </ul> </div>	

<p>・それぞれがどうして「にこにこ」になるのか、考える。</p> <p>4 本時をふり返り、次時につなげる。</p> <p>・ふり返りシートを書く。 ・予習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p><b>まとめ</b></p> </div> <p>・家族の「にこにこ」を増やすために、自分でできることを考え、ふり返りシートにまとめる。</p> <p>・ふり返りシートに次の2点が書かれていることを見取る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自分のやりたいこと</li> <li>② ①の理由が家族のためであること。</li> </ol>	<p>○どうして「にこにこ」になったのでしょうか。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・お母さんだけがやっていると疲れる。手伝うと、楽。 ・もう赤ちゃんじゃないと思うから。 ・家族が一緒だと、うれしい。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・「一人で起きる」にチャレンジしてみようかな。そしたら、お母さんうれしいかな。 ・〇〇ちゃんにやりかたを聞いて、お風呂掃除をやって、お母さんを喜ばせよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>児童のまとめ例</b></p> <p>・明日からは、一人で起きます。理由はお母さんがうれしいからです。 ・おふろそうじをします。理由は、お母さんが楽になるからです。</p> </div>	<p>【生活への関心・意欲・態度】</p> <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>★責任・使命 ルーブリック (ワークシート・発言)</p> <p>S 家族の一員として、継続的に自分ができることをし、家族をにこにこにしようとすることができる。</p> <p>A 家族の一員として、継続的に自分ができることをしようとしている。</p> <p>B 家族の一員として、自分ができることをしようとしている。</p> <p>C 家族の一員として、自分ができることをしようとしていない。</p> </div>
---	---	--

• MEMO •

